



1 卒業証書授与式

3月12日（金）に、小国ドームを会場に令和2年度第68回小国中学校卒業証書授与式を挙行政しました。

コロナ禍にあって、2年続きの特別な措置を持っての実施となりましたことに、心よりお詫び致します。



当日は、お仕事等で会場に来ることのできない保護者や、入場制限により会場に来られない方々のために、WEBカメラを数台活用して、中継致しました。

同じく、在校生も教室でリモートによる参加とし、在校生代表のみ参列するという方式をとりました。

前日の予行練習までは、卒業生もピンと来ていない様子で、明るく楽しそうに振る舞っていましたが、当日は、凜としたたたずまいで、その緊張感が伝わってきました。



卒業証書授与は、もっと時間をかけて、ゆっくり渡したかったのですが、なるべく短時間で済ませることが優先

されましたので、最初と最後の卒業生以外は、名前だけの読み上げになってしまいました。いつもは、もう少し付け加えていましたが、残念です。



渡しながら、「3年前もまだまだ幼い顔立ちの同じ生徒に渡したなあ。」とか「小学校の卒業式の際は、式辞で、

WANIMAの『ともに』という歌を引き合いにして話したものだ。」

と、思い出していました。

月日の経つのは本当に早いものですね。

私にとって、忘れられないこととなったのは、PTAの皆様からいただいた感謝状です。

身に余る言葉で飾られた感謝状は、私の一生の宝になりました。本当にありがとうございました。

この校長室だよりを書いている現在、卒業生全員の進路が決定しました。

改めまして、ご卒業ご進学おめでとうございます。

朝、交通指導に立っていると、いつもとは反対の方向に、それも自動車に乗って行く卒業生の姿を何人も目にしました。

「ああ、合格者招集に高校に行くんだなあ。」と一人で納得したところです。



受験は団体戦であると、前号で書かせていただきました。

最後の一人が進路を決めるまで、みんな協力して、その雰囲気作りをしながら頑張ってきた卒業生の姿を、在校生も目に焼き付けて、来年度へ引き継いでいてください。

最後に、頼りない校長で申し訳ないことばかりでしたが、小国中学校を最後に定年退職致します。

小国で終わることができて本当に良かったです。ありがとうございました。

※校長室だより「凌駕」は、カラー版で本校ホームページでも見ることができます。

<https://jh.higo.ed.jp/oguni/>

文責 校長 家興 修一